

## コロサイ人への手紙 1章 13~18節 私たちはキリストの体である教会

今日、私たちは教会として64周年を迎えました。毎年この時期、私たちは通常の連続説教をお休みして、主イエス・キリストの慈しみに焦点を当て、過去60有余年の間、横浜国際バプテスト教会でキリストのからだの象徴として仕えてきた多くの聖徒たちの集いにおけるイエス・キリストの御業に賛美を献げます。

今日は、教会とは何かという基本に立ち返って、神の御言葉に浸ってみたいと思います。私たちの信仰告白である「バプテストの信仰とメッセージ2000」は、教会をこのように定義しています：

### バプテスト信仰とメッセージ2000

#### VI. 教会

主イエス・キリストの新約教会は、福音の信仰と交わりにおいて契約により結ばれた、バプテストを受け入れた信仰者たちの自律的、地域的な会衆であり、この信仰者たちは、キリストの二つの礼典を執り行い、主の律法に支配され、主のみことばにより授けられた賜物、権利、特権を行使し、福音を地の果てまで広めるよう努める。各会衆は、主としてのキリストの権威の下に、民主的な方法を通じて運営される。そのような会衆において、各会員は、主であるキリストに対して責任を負う。聖書に基づく教会の役職者は、牧師/長老/監督と執事である。男性も女性も共に教会における奉仕のために賜物を与えられているが、牧師/長老/監督の役職は聖書によって定められるとおり男性に限られる。新約聖書にはまた、キリストのからだとして、あらゆる時代のすべての贖われた者、あらゆる部族、言語、民族、国民の信仰者を含む教会についても書かれている。

この定義は有益であり、明確であり、そして最も重要なことは聖書的であるということです。しかし、見落としがちなフレーズに注目したいと思います。各会衆は、主としてのキリストの権威の下に、民主的な方法を通じて運営される..会衆政治について語るこの文章の最後の部分に走り、この最も重要なフレーズを飛ばしてしまいがちです。何よりも教会は主イエス・キリスト御自身の主権の下にあります。

私たちの存在意義、持っているものすべてはイエス・キリスト御自身によるものです。今日、キリストの教会であることの意味を考えるにあたり、このことを覚えていただきたいと思います。今日の中心聖句、コロサイ人への手紙 1章 13~18節 から読み始めましょう。

コロサイ人への手紙 1章 13~18節 御父は、私たちが暗闇の力から救い出して、愛する御子のご支配の中に移してくださいました。14 この御子にあって、私たちは、贖い、すなわち罪の赦しを得ているのです。15 御子は、見えない神のかたちであり、すべての造られたものより先に生まれた方です。16 なぜなら、天と地にあるすべてのものは、見えるものも見えないものも、王座であれ主権であれ、支配であれ権威であれ、御子にあって造られたからです。万物は御子によって造られ、御子のために造られました。17 御子は万物に先立って存在し、万物は御子にあって成り立っています。18 また、御子はそのからだである教会のかしらです。御子は初めであり、死者の中から最初に生まれた方です。こうして、すべてのことにおいて第一の者となりました。

なんと美しいイエス・キリストの描写でしょう！この聖書箇所は、主イエス・キリストがその栄光のすべてにおいてどのようなお方であるかを私たちに示しています。第一に、救い主。第二に、肉となられた神。第三に、創造主。第四に、王。最後に、教会の頭。今日、私たちが注目したいのは、教会の頭としての主のアイデンティティですが、神が誰であるかということを理解することは、他のすべてのアイデンティティの理解にかかっています。教会の救いのための贖いの御業である主の死は、彼を私たちの救い主としました。イエスが神であるからこそ可能なのです。

つまり、キリストは、御自分の教会を御自分の望まれる姿に導くために、これらすべてであられるのです。そして、今日そこにこの聖書箇所は私たちを導いているのです。私たちの教会に対する考えや教会のあるべき姿は、神が教会に何を望んでおられるかというよりも、私たち人間の願いや思い描くことが中心になっていることがほとんどです。その根底にあるのは、私たちの教会観がキリスト中心ではなく人間中心だからです。人間中心の教会観は、良い調和や満席の礼拝

堂、美しい建物を作ることはできるかもしれませんが、キリストが意図された教会のあるべき姿を定義するものではありません。そして、キリストが教会の頭であるならば、私たちが達成しようと努力すべきなのは、キリストの教会のための御計画なのです。新約聖書では、教会は3つの方法で描写されており、その3つすべてが、イエス・キリストが教会として私たちがどのようにあるように意図されているかに直接結びついています。聖書が教会を表現する3つの方法とは、家族、交わり、体です。

コロサイ1章13-18節に関連する3つの異なる聖書箇所を見て、教会とは何かという3つの側面を示します。最初の箇所はヘブル2章10-13節です。この箇所では、コロサイの信徒への手紙にあるのとよく似た表現が使われており、キリストの存在という側面を、キリストが私たちが家族にしてくださいということに結びつけています。

**ヘブル人への手紙2章10~13節 多くの子たちを栄光に導くために、彼らの救いの創始者を多くの苦しみを通して完全な者とされたのは、万物の存在の目的であり、また原因でもある神に、ふさわしいことであったのです。11 聖とする方も、聖とされる者たちも、みな一人の方から出ています。それゆえ、イエスは彼らを兄弟と呼ぶことを恥とせず、こう言われます。12 「わたしは、あなたの御名を兄弟たちに語り告げ、会衆の中であなたを賛美しよう。」 13 また、「わたしはこの方に信頼を置く」と言い、さらに、「見よ。わたしと、神がわたしに下さった子たち」と言われます。**

コロサイの信徒への手紙とのつながりに注目してください。コロサイ人への手紙1章17節にはこう言っています。

**17 御子は万物に先立って存在し、万物は御子にあって成り立っています。** さて、10節はこうです。**万物の存在の目的であり、また原因でもある神に、ふさわしいことであったのです。**

非常によく似た言葉ですが、これは父なる神について語っていることを除けば、実際は両者ともに同じようにキリストの神性を示しています。しかし、私がここで見てほしいのは、ヘブル人への手紙の著者が、10節の**苦しみ**であるキリストの死を通して父なる神が、**多くの子たちを栄光に導く**と述べていることです。これはイエスの救い主としてのアイデンティティと結びついています。イエスの死は、私たちの栄光ある永遠を可能にします。そしてこの未来の存在は、私たちが家族とともに過ごすものだと言われています。イエスが私たちがどのように呼んでいるかを見てください。10節によれば、私たちは**子たち**です。11節は**イエスは彼らを兄弟と呼ぶことを恥とせず**と言います。12節はこう言っています。**わたしは、あなたの御名を兄弟たちに語り告げ。**最後に13節はこう言います。**神がわたしに下さった子たち。** イエスを救い主としていると、私たちは家族の一員となります。それがキリストの教会の家族です。さて、ここで子たちという言葉が出てきます。これは教会で女性を排除しているのではなく、当時の社会における息子の法的地位を認めるものです。息子は完全な相続権を持っていましたが、娘はほとんどの場合そうではありませんでした。ですから、息子と娘というよりも、私たちはみな等しく神の家族に養子として迎えられ、イエスの名を持つことで得られる恩恵を完全に受け継いでいます。この家族には、頭である主イエス・キリストとともに兄弟姉妹であり、三位一体の第二位格である神の子として兄弟でもあるという平等性があります。11節で、主イエスが私たちが**兄弟**と呼んでいることに注目してください。さて、だからといって教会における男女の違いがなくなるのでしょうか？もちろんそうではありません。実際、家庭でも教会でも、男女の役割は微妙に異なっています。しかし、家族の一員であることの基本は、全員が同じ天の父の子であるという継承の平等です。このことは、私たちがどのように教会を行うかについて何を意味するのでしょうか？それは、家族として互いを思いやるということです。私たちは互いに愛し合います。私たちはまた、イエス・キリストという同じDNA、同じ土台を共有しているので、まったく同じではありませんが、同じような行動をとります。

ですから、私たちは皆、福音を分かち合っているのですが、その分かち合い方はそれぞれの個性によって異なります。私たちは皆、神の御言葉に従いますが、ローマ人への手紙14章やコリントの信徒への手紙一8章にあるように、時には解釈が異なり、良心の呵責から、他の人が罪と思わないことをしない人もいます。それでも、私たちは互いに愛し合い、家族として一緒にいるために、その違いを乗り越えていきます。

教会から離れて生活することで、そのような違いから逃れることはできるかもしれませんが、私たちが教会の中でそのようなことに取り組む中で、神があなたの中で、あなたを通して行おうとしておられる恵みを経験しそこなうこととなります。また、私たちの中には、教会が具体的な形で家族であることを必要としている人もいます。1世紀にも、そして今日でも多くの場所で、もしかしたら皆さんの家族の中でもあるかもしれませんが、洗礼を通してイエス・キリストを主であり救い主であると公に宣言すると、血のつながりのあるの家族は皆さんを少なからず排除し、もしかしたら迫害さえするかもしれません。キリストにある家族であることを真に実践することができればできるほど、私たちはイエスが建てたいと望んでおられる教会になっていくのです。神が私たちが養子として迎え入れ御自分の子とされたことのしるしとなるのは聖霊ですが、その養子縁組を物理的に表し、私たちが教会に結びつけるのはバプテスマです。バプテスマを受けて地域教会の一員にならない人は稀であり、例外的であるべきです。

ですから、教会は第一にキリストにある家族ですが、第二に、教会は交わりであると言われ、キリストが私たちの交わりの基礎であると言われています。コリント人への手紙一1章を見ると、教会についてこのように書かれています。

**コリント人への手紙 第一1章9~10節** *神は真実です。その神に召されて、あなたがたは神の御子、私たちの主イエス・キリストとの交わりに入れられたのです。10さて、兄弟たち、私たちの主イエス・キリストの名によって、あなたがたにお願いします。どうか皆が語ることを一つにして、仲間割れせず、同じ心、同じ考えで一致してください。*

再び、救いがこの交わりの基礎であることがわかります。コロサイ人への手紙に、私たちは「愛する御子の王国に移された」とあるように。

**愛する御子のご支配の中に移していただきました。**

ここコロサイ人への手紙一ではこうとも書かれています。 **神の御子、私たちの主イエス・キリストとの交わりに入れられたのです。**

繰り返しますが、それは私とイエス様だけの交わりではなく、キリストにある兄弟姉妹の交わりであり、私たちのためにイエス・キリストが死んでくださったおかげで、私たちがイエス・キリストと一致しているのと同じように、私たちも互いに一致するよう求められているのです。私たちの一致とは、この交わりの土台となる確信の一致です。私たちが会員契約を持ち、教会としての教義と実践の指針となる明確な信仰声明を持っているのには理由があります。

YIBCに入会する際、これらの神の御言葉の理解に従うことに同意するという事は、私たちが誰と親しく交わり、私たちの教会の一員と呼ぶべきかを導く、私たちが信じる特定の重要な教義に関して私たちが同じ心、同じ判断を共有するという事です。それはまた、私たちが他の教会とどの程度親密に交わりを持つかを導くものでもあります。私たちは、同じ教理的確信を共有する教会と非常に緊密な交わりを持つことができます。私たちは、神の御言葉の理解から生まれる非常に緊密な交わりを持っているため、一緒に教会を開拓したり、宣教活動を行ったりすることさえもできるのです。

もちろん、キリストの兄弟姉妹として受け入れている教会であっても、教義や神学的特徴が大きく異なるため、より親密な交わりは難しいか不可能であるため、交わりを制限している場合もあります。

しかし、教会内では、私たちがどのように神に仕え、礼拝するのかという共通理解に基づく緊密な一致であるこの交わりに召されています。この種の交わりは、食事や楽しみを分かち合う以上のものですが、私たちはそうした活動の中でその親密さを示しています。しかし、教会の規律を実践することによっても、私たちの交わりの深さを示すことができます。そのため、家族の一員であると主張しながら、家族の名に反し、家族の長に反抗するような行動をとる人がいる場合、私たちは実際にその人を家族の交わりから排除するよう求められているのです。

**コリント人への手紙 第一5章2節** *それなのに、あなたがたは思い上がっています。むしろ、悲しんで、そのような行いをしている者を、自分たちの中から取り除くべきではなかったのですか。*

これは、ある男が公然と実の母親かもしれませんが、おそらく義理の母親であろう女性と姦淫を犯したという、特に深刻な、あからさまな罪と思われるケースでした。いずれにせよ、それは教

会内で知れわたり、容認されていました。もし私たちがキリストのからだの中で、単に一緒に仕事をしたり、一緒に歌ったり、一緒に食べたり、一緒に講演を聞いたりするためだけに集まった組織であり、それが私たちの交わりの範囲であったとしたら、教会の集まりを離れて人々が何をしようと問題にはならないでしょう。

しかし、私たちの交わりは違います。イエス・キリストを中心とした交わりであり、イエス・キリストと共にある交わりである故、誰はばかりことなく行われる罪深い非キリスト的な行動を容認することは、一致の中に見られるその交わりを破壊することになります。もし私たちが、ある人たちの公然と罪深い行いをするようことを許し、それらの罪深い行いを含め、それらの行いを受け入れることを良しとするならば、私たちの交わりの中心は自分自身であり、イエスではありません。

しかし最後に、神が御言葉の中で教会を表現するのに用いている第三の言葉があります。神は教会を **からだ** と呼び、その **からだ** の中で私たちに目的を与えてくださるのは、やはりイエス・キリスト御自身なのです。エペソ 4 章 4-8 節を見て下さい。

**エペソ人への手紙 4 章 4~8 節 あなたがたが召された、その召しの望みが一つであったのと同じように、からだは一つ、御霊は一つです。5 主はひとり、信仰は一つ、バプテスマは一つです。6 すべてのものの上にあり、すべてのものを貫き、すべてのもののうちにおられる、すべてのものの父である神はただひとりです。7 しかし、私たちは一人ひとり、キリストの賜物の量りにしたがって恵みを与えられました。8 そのため、こう言われています。「彼はいと高き所に上ったとき、捕虜を連れて行き、人々に贈り物を与えられた。」**

教会を **からだ** と呼び、その **からだ** に属する一人ひとりに、**からだ** の中で用いる特別な賜物を与えることによって、キリストは私たちが教会の中で目的をもって生きるよう召しておられるのです。私たちの体のすべての部分には目的があります。私たちが重要でないと思っている体の部分であっても。

1893 年に、ロバート・ヴィーダースハイムという人物が人体解剖学の本を書きました。その本の中で、彼はもはや何の目的もない人間の臓器が 86 種類あると主張しました。今日、私たちは、**彼が退化したものや不要なものだと考えていた臓器すべてに目的がある事を知っています。**

ですから、私たち人間の体は、どんなに小さくともすべての部分を必要としています。私たちのクリスチャン生活は、イエスと私だけのためにデザインされているのではありません。私たちは、すべての機能がひとつの目的に向かって協力し合って初めて正しく存在し、生命体の一部となるように設計されているのです。私の信仰は個人的なものだから、地元の教会のメンバーである必要はない、私は自分一人だけで教会を守ることができる というのは不健全な考えです。

私が毎週、礼拝の終わりに言っている「私たちは教会です」という言葉を根拠に、このような主張をする人さえいます。私がそのように言うとき、私たちは日常生活でキリストを代表するために出発するとき四方八方に散らされた教会であるという意味ですが、それは、散らされた教会が毎週礼拝のために集まる一つの教会になり、キリストの完全なからだを築き上げるために神が与えてくださったこれらの賜物を用いて、キリストにあって私たちが持っている一致を示すための教会になるという期待を伴っています。エペソ人への手紙 4 章の 16 節はこう締めくくられています。**エペソ人への手紙 4 章 16 節 キリストによって、からだ全体は、あらゆる節々を支えとして組み合わされ、つなぎ合わされ、それぞれの部分がその分に応じて働くことにより成長して、愛のうちに建てられることになります。**

それが私たちの目標です！そして、牧師や執事や日曜学校教師だけではありません。私たち全員が共に働き、共に仕え、共に愛し、イエス・キリストの家族として、からだとして、交わりを共にすることが、私たちが教会たらしめているのです。私たちが不完全であるとわかっている、そうするとき、私たちはコロサイ 3 章 18 節を実践していることになるのです。

**また、御子はそのからだである教会のかしらです。御子は初めであり、死者の中から最初に生まれた方です。こうして、すべてのことにおいて第一の者となりました。**

これから先何年でも YIBC が教会として存在することを主が祝福してくださる限り、キリストが第一のお方であり誰よりも、そして教会の他のすべてのものよりもいと高き所にあり、すべての栄光が帰されますように！祈りましょう。

## Colossians 1:13-18 We are Christ's Church

Today, we celebrate 64 years as a church. Each year at this time, we take a break in our regular preaching series to focus on the goodness of Jesus Christ and give praise to him for his work in this gathering of people who have represented the Body of Christ at Yokohama International Baptist Church for the past 6 decades. Today, I want us to spend some time in God's Word coming back to the basics of what it means to be a church. Our Confession of faith, the Baptist Faith and Message 2000 defines the church like this: *A New Testament church of the Lord Jesus Christ is an autonomous local congregation of baptized believers, associated by covenant in the faith and fellowship of the gospel; observing the two ordinances of Christ, governed by His laws, exercising the gifts, rights, and privileges invested in them by His Word, and seeking to extend the gospel to the ends of the earth. Each congregation operates under the Lordship of Christ through democratic processes. In such a congregation each member is responsible and accountable to Christ as Lord. Its two scriptural offices are that of pastor/elder/overseer and deacon. While both men and women are gifted for service in the church, the office of pastor/elder/overseer is limited to men as qualified by Scripture. The New Testament speaks also of the church as the Body of Christ which includes all of the redeemed of all the ages, believers from every tribe, and tongue, and people, and nation.*

This definition is helpful, its clear and most importantly, its Biblical. But I want to focus on a phrase that is easy to overlook. *Each congregation operates under the Lordship of Christ*... It's very easy to run to the last part of that sentence that talks about congregational government and skip this most important phrase. Above all else the church is under the Lordship of Jesus Christ himself. Everything we are and have is from Jesus Christ himself, and that is what I want us to remember today as we look at what it means to be Christ's church. Let's begin by reading our core passage for today Colossians 1:13-18. Colossians 1:13-18 says, <sup>13</sup>He has delivered us from the domain of darkness and transferred us to the kingdom of his beloved Son, <sup>14</sup>in whom we have redemption, the forgiveness of sins. <sup>15</sup>He is the image of the invisible God, the firstborn of all creation. <sup>16</sup>For by him all things were created, in heaven and on earth, visible and invisible, whether thrones or dominions or rulers or authorities—all things were created through him and for him. <sup>17</sup>And he is before all things, and in him all things hold together. <sup>18</sup>And he is the head of the body, the church. He is the beginning, the firstborn from the dead, that in everything he might be preeminent. What a beautiful description of Jesus Christ! This passage lays out for us who Jesus Christ is in all of his glory. First, Savior. Second, God incarnate. Third, Creator. Fourth, King. Finally, Head of the Church. It is his identity as Head of the church that we want to focus on today, but that identification hinges on all of those other identities. His death that made him our Savior by purchasing salvation for His church is only possible because he is God. So, Christ is all of these things as he leads His church to be what He wants it to be. And that is where this passage leads us today. Our ideas for church and what church should be are so often centered on humans, our desires and what we like, rather than on what God wants the church to be. And the reason for that at its foundation is that our view of the church is man-centered rather than Christ centered. And while a man centered view of church might be able to create a good concert or a large crowd or a beautiful building, none of those things define what Christ intends and leads the church to be. And if Christ is the head of the church, then it is his plan for the church that we should strive to achieve. A church is described in THREE ways in the New Testament, and all three of

them are tied directly to who Jesus Christ intends us to be as the church. **The three ways the Bible describes the church are as a family, a fellowship and a body.**

I want to go to three different passages that are connected to Colossians 1:13-18 and show us these three aspects of what a church is. The first passage I want us to look at is Hebrews 2:10-13. This passage uses very similar language found in Colossians and connects those aspects of Christ's existence to showing us that **Christ makes us family.** Hebrews 2:10-13 says, <sup>10</sup>For it was fitting that he, for whom and by whom all things exist, in bringing many sons to glory, should make the founder of their salvation perfect through suffering.<sup>11</sup> For he who sanctifies and those who are sanctified all have one source. That is why he is not ashamed to call them brothers,<sup>12</sup> saying, "I will tell of your name to my brothers; in the midst of the congregation I will sing your praise."<sup>13</sup> And again, "I will put my trust in him." And again, "Behold, I and the children God has given me." Notice the connections here to Colossians. Verse 17 of Colossians 1 says, <sup>17</sup>And he is before all things, and in him all things hold together. Now verse 10 says, <sup>10</sup>For it was fitting that he, for whom and by whom all things exist... Very similar words, except this is talking about God the Father, which actually shows the Deity of Christ with the same things said of both. But what I want us to see here is that the writer of Hebrews is pointing out that God the Father through Christ's death – suffering in verse 10, says that he will bring "many sons to glory..." This ties into Jesus's identity as our Savior. His death makes our glorified eternity possible. And this future existence is said to be one that we will be spending with family. Look at the references to what he calls us here. Verse 10 says we are "sons." Verse 11 says, "he [*that is Jesus*] is not ashamed to call them brothers." Verse 12 says, "I will tell of your name to my brothers..." Then finally verse 13 says we are "children God has given me [*again this is Jesus*]." With Jesus as our Savior, we are placed into a family. That is Christ's church.

Now here we see the language of sonship. This is not excluding women in the church, but it is recognizing the legal position of sons in the society of that time. Sons had the full right of inheritance, whereas daughters for the most part did not. So, rather than being sons and daughters, there is a sense that we are all equally adopted into the family of God, all of us fully inheriting the benefits that come with bearing the name of Jesus. There is an equality in this family where we are brothers and sister together with Jesus Christ, who is the head, but also our brother as the Son of God, the second person of the Trinity. Notice THAT in verse 11 where Jesus calls us "brothers." Now, does that do away with gender differences in the church? Of course not, and in fact, we find slightly different roles for men and women in both the home and the church, but the basis of being part of a family is equality of inheritance as all being children of the same Heavenly Father. And what does this mean for how we do church? It means that as a family we care for each other. We love each other. We also act in similar ways, but not exactly the same because we share the same DNA, the same foundation of Jesus Christ. So, we all share the gospel, but we share it differently based on our personalities. We all obey the Word of God, but as we find out in Romans 14 and in 1 Corinthians 8, sometimes our interpretations differ and our consciences keep some of us from doing things that others do not find sinful. And yet, we love each other and work through those differences in order to stay together as a family. By living life apart from the church, you may escape those differences, but you miss out on what God wants to do in you and through you as we work through those things in the church. And some of us need the church to be a family in very real tangible ways. In the first century and still in many places today, maybe including some of your families, when you publicly

acknowledge Jesus Christ as your Lord and Savior through baptism, your human family excludes you to some extent, perhaps even persecutes you in some way. The more we can truly live out being a family in Christ, the more we are becoming the church that Jesus wants to build. While it is the Holy Spirit that is the sign of God's adoption of us as his child, it is baptism that physically pictures that adoption and joins us to the church, which is why baptism should be done within the church. It should be rare and irregular for someone to be baptized and not become part of the local church.

So the church is first a family in Christ, but secondly we said the church is said to be a fellowship, **and Christ is the basis of our Fellowship.** I want to look at 1 Corinthians 1 where we see the church described in this way. [1 Corinthians 1:9-10](#) says, <sup>9</sup> [God is faithful, by whom you were called into the fellowship of his Son, Jesus Christ our Lord.](#) <sup>10</sup> [I appeal to you, brothers, by the name of our Lord Jesus Christ, that all of you agree, and that there be no divisions among you, but that you be united in the same mind and the same judgment.](#) Once again, we see salvation being the basis for this fellowship. Just as Colossians says that we have been... **“transferred... to the kingdom of his beloved Son,”** here in 1 Corinthians we have also been [called into the fellowship of his Son.](#) Once again, though, it is not a fellowship of just me and Jesus, it is a fellowship of brothers and sisters in Christ where we are called to unity with each other in the same way we are in unity with Jesus Christ because of his death for us. Our unity is a unity of conviction that forms the basis for this fellowship. There is a reason that we have a membership covenant and a clear statement of faith that guides our doctrine and our practice as a church. When you agree to abide by those understanding of God's Word when you join YIBC, it means we share the same mind, the same judgement about certain key doctrines we believe should guide who we join with in close fellowship and call part of our church. They also should guide how closely we fellowship with other churches. We can have very close fellowship with churches that share our same doctrinal convictions. We can even plant churches together and do missions work together, because we have very close fellowship that flows from our understanding of God's Word. Of course there are other churches where we accept them as fellow brothers and sisters in Christ but are limited in our fellowship because we are very different in doctrines and theological distinctives that would make closer fellowship difficult or impossible.

But within the church itself, we are called to this fellowship which is close unity based on our shared understanding of how we serve and worship God. This type of fellowship is far more than sharing meals and fun, but we demonstrate that closeness in those types of activities. But we also demonstrate the deepness of our fellowship by practicing church discipline. This is why when you have someone who claims to be part of the family, but acts in a way that is against what the family name stands for, and in defiance of the head of the family, we are actually called to remove that person from the fellowship of the family. Look at [1 Corinthians 5:2](#) <sup>2</sup> [And you are arrogant! Ought you not rather to mourn? Let him who has done this be removed from among you.](#) This was a particularly severe and seems to be public case of sin where a man was openly committing adultery with a lady who is probably his step-mother although it may be his actual mother. Either way, it was known and being tolerated within the church. Now if we were coming together in the Body of Christ as simply an organization gathered to conduct business together or sing together, eat together, or listen to a lecture together and that was the extent of our fellowship then it would not matter what people did away

from the gathering of the church. But our fellowship is different. It is fellowship that centers around and with Jesus Christ, so to tolerate unapologetically sinful unchristlike behavior destroys that fellowship that is seen in unity. If we are okay with including those sinful behaviors and embracing those behaviors as some would have us do with openly sinful actions then our fellowship is centered on ourselves and not on Jesus.

But finally, there is a third term that God uses in His Word to describe the Church. He calls it a Body, and again **it is Jesus Christ himself who gives us a purpose in his Body.** Look at [Ephesians 4:4-8](#). <sup>4</sup> [There is one body and one Spirit—just as you were called to the one hope that belongs to your call—](#) <sup>5</sup> [one Lord, one faith, one baptism,](#) <sup>6</sup> [one God and Father of all, who is over all and through all and in all.](#) <sup>7</sup> [But grace was given to each one of us according to the measure of Christ's gift.](#) <sup>8</sup> [Therefore it says, “When he ascended on high he led a host of captives, and he gave gifts to men.”](#) By calling the church a Body, and then giving each one in that Body a particular gift to use within the Body, Christ is calling us to a life of purpose within the church. There is a reason for every part of our body. Even the parts of our bodies that we think are unimportant. [In 1893, a man named Robert Wiedersheim wrote a book at human anatomy. In that book, he claimed there were 86 different human organs that no longer had any purpose because in his view, we had evolved beyond them. Today we know the purpose of all of those organs he believed were vestigial or unnecessary, and the fact is we have severe physical problems if we were missing many of them.](#) So our human bodies need every part, no matter how small, and it is the same in the church. Our Christian lives are not designed to just be me and Jesus. We are designed to be a part of a living organism that only exists properly when all of its functions work together towards one purpose. It is an unhealthy idea that says my faith is personal to such an extent that I don't need to be a member of a local church. I can just hold church on my own. I have even heard people make this argument based on what I regularly say at the end of the service – “we are the church.” When I say that, I mean that we are the church scattered when we leave to represent Christ in our everyday life, but that comes with an expectation that the church scattered will every week become the church gathered for worship, for demonstration of the unity we have in Christ by using these gifts that God has given to build up the full Body of Christ. If we continue on in this passage [verse 16 of Ephesians 4](#) ends by saying, [when each part is working properly, makes the body grow so that it builds itself up in love.](#) That's our goal! And its not just Pastors or Deacons or Sunday School teachers. It is all of us working together, serving together, loving together, as the Body, in fellowship together as the family of Jesus Christ that makes us the church. When we do that as imperfect as we know we will be at it, then we will be living out [Colossians 3:18](#). <sup>18</sup> [And he is the head of the body, the church. He is the beginning, the firstborn from the dead, that in everything he might be preeminent.](#) May Christ be preeminent, glorified above everyone and everything else at YIBC, for as many more years as he blesses us to exist as a church! Let's pray.